

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

20

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	赤ちゃん訪問・相談事業					
予算科目	4	款	1	項	5	目
予算事業名	母子衛生費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課	担当課長	國寄 和幸			
事業担当者	上安 由里恵	一次評価者	持松 可奈子			
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	母子保健法、児童福祉法					
事業の対象	乳児・産婦、その家族					
事業の目的	産後の母子の健康状態、育児相談、養育状況の確認を行う。また、木子里において親子の交流の場を提供し、育児不安の解消、産後うつや虐待予防を図る。					
実施期間	開始年度	昭和 51 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	<p><赤ちゃん訪問>全ての生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、母子の健康状態や養育環境を把握する。また、育児に関する情報提供、相談、助言を行う。必要であれば継続して、訪問などの支援を行う。</p> <p><赤ちゃん相談>月1回、木子里に保健師、管理栄養士が出向き開催。計測、育児相談を行う。</p>					
目的達成の指標	乳幼児の虐待件数					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	件	0	0	0	0
	実績	件	0	0		
指標設定の考え方	産後、訪問や相談などで継続して保健師が関わることで、児の養育環境や母の育児不安などを把握することができ、虐待のリスクを軽減できると考えたため。					
事業遂行時懸案事項等	赤ちゃん訪問・相談で気になる母子については、相談できる場所や人がいるのかなど、何らかの支援が得られているのか確認する必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	赤ちゃん訪問・相談時に相談できる場所や人がいるのかを確認し、いない場合は受けられる支援サポートの情報提供を行う。 また赤ちゃん相談は利用者が多く苦手であるという方に対しても、後日個別に対応することが可能であることを伝え、母子が相談しやすい環境を整えていく。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 361円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29年度予算	30年度予算	31年度予算	32年度予算
事務量	① 人工数	0.54	0.44	0.44
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	3,985	3,234	3,234
事業費	直接事業費	5	8	8
	人件費	3,985	3,234	3,234
	合計	3,990	3,242	3,242
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	3	4	4
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,987	3,238	3,238
	合計	3,990	3,242	3,242

事業費計画

(千円)

区分/年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
目標	8	8	8	8	8
実績	5	8			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29年度	30年度	31年度	32年度
赤ちゃん訪問件数	人	67	70	85	85
		75	90		
赤ちゃん相談利用実人数	人	67	70	70	70
		52	65		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 361円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29年度決算	30年度予算	30年度決算	
事務量	① 人工数	0.54	0.44	0.44
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	3,849	3,234	3,234
事業費	直接事業費	5	8	8
	人件費	3,849	3,234	3,234
	合計	3,854	3,242	3,242
財源内訳	国庫支出金	0		
	県支出金	3	4	4
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	3,851	3,238	3,238
	合計	3,854	3,242	3,242

実施備忘録

自己評価	評価者	上安 由里恵
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

生後4か月頃までに全員を対象に保健師が赤ちゃん訪問を行っているが、病院からの情報提供を元に早めの訪問が必要と判断した場合は早めに訪問を行っている。さらに必要であれば病院と情報共有を行い、支援が必要な場合は支援を行っている。

また住民だけでなく、里帰りをされている母子に対しても依頼があった際は、赤ちゃん訪問を行っている。児の成長発達の確認や育児の相談を行っているため、保護者にとって安心して子育てすることができるようになっている。

また月1回、定期的に身体測定や相談できる場を設けているため、訪問や健診後のフォローの場として活用することができている。

今後も訪問や健診後のフォローの場として活用し、安心して子育てしやすい環境づくりを行っていく。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

赤ちゃん訪問は全員を対象に行っており、訪問率は100%となっている。病院からの情報を元に早めの訪問が必要と判断した場合は、できるだけ早期に介入し、必要に応じて支援を行うことができている。また赤ちゃん相談をしていない日でも相談できることを保護者に伝えているため、いつでも相談できる環境を整えており、育児の不安軽減に繋がっている。

今後も保護者の育児不安の軽減に繋がるよう、いつでも相談できる環境を整えていく。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

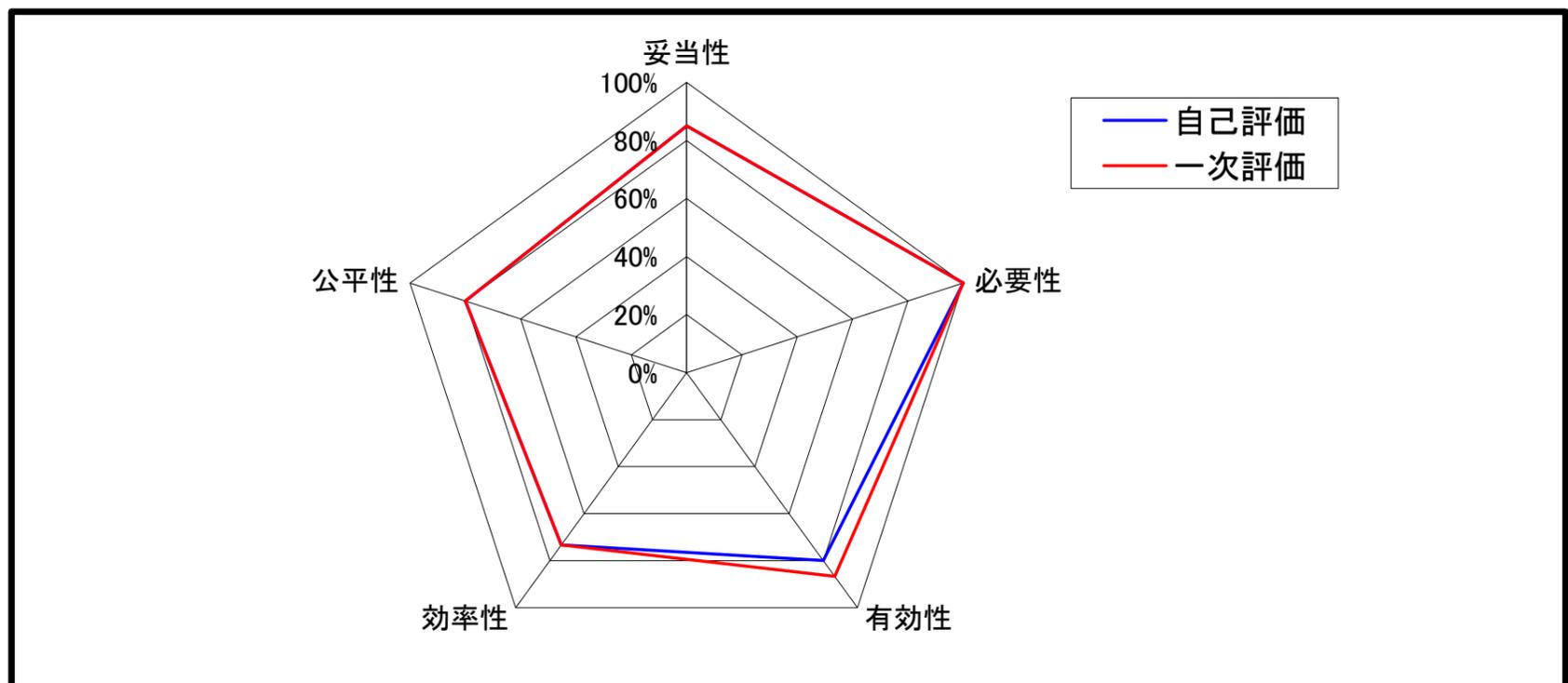
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

児の健やかな成長の支援のため、育児の不安や悩みに対応する体制を整えている。
 また、支援が必要な母子へ対応するために、関係機関との連携をとり継続的なフォローを行っている。
 訪問事業については、母親の育児不安を早めに解消するために、今後も全戸訪問を実施する必要がある。
 相談事業は子育て支援センターで実施することで、センターを継続して利用するとともに、母親同士の交流に繋がっていると考える。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

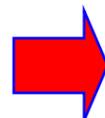
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

最近子供の虐待が深刻な状況で社会問題にもなっている。全戸訪問を中心に相談事業に力を入れて事業を継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

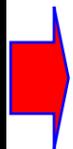
一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

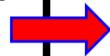
外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--